

前 奏 黙想	祈 禱
招 詞 ヨハネによる福音書 4:23	讃 美 歌 344 とらえたまえ、わが身を
讃 美 歌 18 せいなる御神は	献 金
祈 禱	讃 詠 547 いまささぐるそなえものを
信仰告白 使徒信条 566	黙 禱
聖 書 申命記 5:2~4	主の祈り 564
ヨハネの手紙一 1:1~4	頌 栄 541 父、み子、みたまの
讃 美 歌 252 主よ、今わが身は	祝 禱
説 教 『御父なる神の顔』	後 奏

イエス・キリストのことを、「イエス」と呼んだり、「キリスト」と言ったりする。前者はユダヤ人によくある男子名の「ヨシュア」。後者は新約聖書のギリシア語で「救い主」の称号。旧約聖書のヘブライ語で言えば「メシア」。新約聖書は、イエスとキリストを、どう分けて語っているだろうか。

「わたしたちが見、また聞いたことを、あなたがたにも伝えるのは、あなたがたもわたしたちとの交わりを持つようになるためです。わたしたちの交わりは、御父と御子イエス・キリストとの交わりです(Ⅰヨハ1:3)」。イエスとキリストを分けるならば、「聞いたもの、目で見えたもの、よく見て、手で触れたもの(1:1)」は人間イエス。「初めからあったもの、命の言(1:1)」は救い主キリストだろうか。

それでは、「御父」なる神とは、どんな方で、どんな声を発し、どんな顔をしているのか。威厳ある族長のような雰囲気だろうか。いや、もっと具体的に、そのまま「イエスの声」で、「イエスの顔」だとイメージしてもいいんじゃないか。御父なる神と、御子イエス・キリストは「一つ」なのだから。

そして私たちは、そんな「御父と御子」に交わる(1:3)。すると私たちは「イエスの顔をした神」に出会うだろう。だからイエスのことを、キリストと呼ぶ。ただこんな勘違いはしないほしい。仏教ではお釈迦様を「ゴードマ(個人名)・ブッダ(覚者)」と表現して、他のブッダも存在する。しかしキリストは、称号であってもイエス以外にはありえない。だから二千年前のユダヤ人ラビ、イエスによって「初めからあった(1:1)」神の何たるかが明らかにされた、では歴史上の人間イエスでしかない。

私たちは、イエスの顔をした神を「よく見て、手で触れる(1:1)」。そして「現れた永遠の命」を見、証しし、伝える(1:2)。先ほどイエスとキリストをあえて分けたが、真実は逆方向だ。「初めからあった～命の言(1:1)」であるイエス・キリスト。イエスは、神と共にあり、神であり、「わたしたちに永遠の命として現れた(1:2)」。「喜びが満ちあふれ(1:4)」、力が湧くことで、私たちはそれを自覚する。

「主は人がその友と語るように、顔と顔を合わせてモーセに語られた(出エジプト33:11)」。特別なモーセだけのことではない。「我々の神、主は、ホレブで我々と契約を結ばれた。主はこの契約を我々の先祖と結ばれたのではなく、今ここに生きている我々すべてと結ばれた。主は山で、火の中からあなたたちと顔と顔を合わせて語られた(申命 5:2~4)」。神の御心は、顔の表情によっても表された。

「顔と顔を合わせて語る」神と人との近さで、御心は実にリアルだったろう。また民の胸の内はうまく言葉にならなくても、顔の表情で伝わり、すべて聞き届けられた。私たちはイエスと「顔と顔を合わせて」神の声を聞き、思いを率直に訴える。神の言葉は抑揚に富み、リアルで今なお生きている。

イエスは「実に、神の国はあなたがたの間にある(ルカ17:21)」と言った。また「安息日は、人のために定められた。人が安息日のためにあるのではない(マルコ2:27)」とも言った。要するに、私たちが現実から浮き上がってしまわぬように。神を高く持ち上げてその隙間を宗教性で埋め合わせぬように。同じ高さで私たちは、イエスという神に「手で触れる(Ⅰヨハ1:1)」。地上で「わたしたちに現れる永遠の命」をリアルに、誠実に生きて、伝える(1:2)。温泉のようにじんわり満ちて来る、喜びと共に(1:4)。

顔と顔を合わせて語る イエスとして現れた神の顔は 細部まで狂いのない AI 映像では表せない
身体があって体温もある 生命そのものである神の声を聞く 生命が満ち溢れている神の顔を見る

10/20(月)10:00~11:30 八ヶ岳教会の甲府聖研(YMCA)。10/22(水)1:00~3:00 マリア・マルタの会。
牧師の動き:本日 2:00~峡南教会(身延町)で礼拝説教。11/2の礼拝直後に臨時総会(30分程度)。

礼拝堂・集会所の住所: 408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ: 408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

eメールは komechan.olive@gmail.com HP は「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。